初めての国際会議を終えて

情報工学府情報システム専攻M2　蓮尾　弘太

はじめに

平26年7月21日～24日にアメリカのネバダ州ラスベガスで開催された国際会議 International Conference on Foundations of Computer Science (2014 FCS) に参加し、研究発表を行いました。

研究内容

私の所属する研究室ではナチュラルコンピューティングに関する研究を行っております。ナチュラルコンピューティングとは自然界の様々な生命活動の仕組みを用いて計算に利用しようという研究分野です。

現在のトランジスタ等を用いた電子回路による一般的なコンピュータでは回路をこれ以上細かくすることが困難となりつつあり、理論的限界に近づいております。そのため、これまでのような性能向上が見込めないことがわかっております。そこで、この性能向上の限界を打ち破るために現在のコンピュータとは全く異なった方式で計算を実行する方法の研究が行われており、そのひとつがナチュラルコンピューティングと呼ばれる分野になります。

私はナチュラルコンピューティングの中でも膜計算と呼ばれる生物の細胞の機能や構造を用いて計算を行うモデルに着目し、そのモデル上で動作する計算システムの提案を行っております。

海外にて

ラスベガスは日中40度を超える砂漠地帯であり、日本では考えられない暑さと非常に乾燥した空気、そして日差しが非常に強い場所でした。そのため、こまめな水分補給と紫外線の対策が必要でした。

また、カジノを主要産業とした観光都市であるため、大きな建物が多く建ち並び、世界各国からの観光客で昼夜問わず賑わっていました。

国際会議にて

私の発表の前には同じ会場で招待講演が行われ、著名な方が講演をしていたため、私の発表の時にも会場に多くの人がおり、とても緊張しました。しかし、発表では事前に念入りに練習を行っていたこともあり、しっかりと落ち着いて発表することができました。発表の後には基本的な質問を受けましたが、なんとか英語で回答することができました。

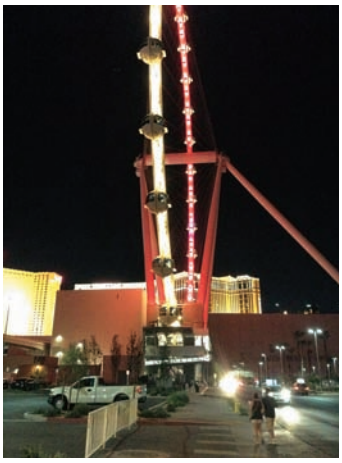
また、私の研究と近いテーマで研究している方の発表を数多く聞くことができ、今後の研究に対するいい刺激になり、普段とは違った視点から研究を見つめなおすきっかけにもなりました。

初めて国際会議に参加し、多くの聴衆の前で英語発表をするという貴重な体験ができました。国際会議に参加するための準備は非常に大変でしたが、終わってみるとあっという間で、次はもっといい発表をしたいという次へのモチベーションが出てくるのを強く感じました。

最後に

まず私の研究や論文執筆、発表を行うにあたり、適切な指導並びに助言を与えてくださいました藤原教授に心から致します。

また、日頃から私の心配をし、大きな支援を送ってくれた両親に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。



世界最大の観覧車
「ラスベガス・ハイ・ローラー」